

基督教学研究

第 7 号

論文

ルターと神学的決定論 金子晴勇 一

Imago Deiとしての精神の自覚の三一的構造 片柳栄一 一六

随想

脚下照顧 武藤一雄 吾

研究ノート

M・ヴェーバー「古代ユダヤ教」とカスパリの批判(一九二二)

——研究史的関心より—— 高野晃兆 三

パウル・ティリッヒと象徴の問題 声名定道 六

彙報

昭和五九年度基督教教学講座講義題目

水垣 涉教授 講義「ヘブライズムとヘレニズム」

研究「信・聞・見」

演習「Origenes: Comm. in Ev. Joannis」

講読「キリスト教学研究入門

及び英書講読」

佐藤 吉昭講師 研究「キリスト教におけるラテン性の成立」

森田雄三郎講師 研究「科学・技術・哲学と神学」

片柳 栄一講師 研究「時と永遠」

今井 晋講師 演習「Martin Luther: Vorlesung über den Römerbrief」

荒井 章三講師 演習「ヘブライ語創世記原典の講読」

梶形 公也講師 講読「Kierkegaard: Krankheit zum Tode」

昭和五八年度論文題目

学士論文

栗野 真和「T・F・トーランスの神学」

長谷川雅人「イエルサレム教会について―その成立から滅亡

について―」

久山 道彦「唯一なる始源から唯一なる終極へ―オリゲネス

『原理論』に於ける悪の問題に就いての一考察―」

第一号 目次

終末論の二類型	武藤 一雄
キリスト論の視点	森田雄三郎
初期アウグスティヌスの人間学	金子晴勇
Lumen Christi	佐藤吉昭
ルターの „Orbigkeit“ に関する一考察	早乙女禮子
ルターにおける信仰と礼典	竹原創一
バルト「ローマ人への手紙」における神認識	村山周治

第二号 目次

オリゲネスの「キリスト教理解」	水垣 渉
ゲッセマネ	大島征二
神学における言葉の問題	竹原創一
アウグスティヌスにおけるキリストの 人性について	小池三郎
ギリシヤ語旧約聖書における <i>παθὴν</i> について	伊藤利行
エルンスト・トネルチにおける „Kom- promis“ の概念	安酸敏真
シェリングに於ける「世界経験」について	森 哲 郎
ルターにおける「外」と「内」につい ての一考察	片柳俊子

第三号 目次

キルケゴール研究の方法について……………小川圭治
エイレナイオスと聖書……………菊地栄三
ティリッヒの芸術神学について……………田辺明子
絶対の相の下に……………片柳栄一
ルターの律法理解……………宮庄哲夫
聖書へブル語統辭論のテキスト言語学的考察…勝村弘也

第四号 目次

ルターの解釈学は「実存論的解釈」と
いえるか……………今井晋
キプリアヌスの教会理解……………佐藤吉昭
ノビリの印度伝道……………塩谷悟
テンブルックのヴェーバー解釈をめぐる論争…高野晃兆
フィロンとキリスト教……………平石善司
ルターの抵抗権思想における服従の問題……………早乙女禮子
創世記テキストにおける語りの技法……………勝村弘也
シェリングに於ける神話と世界……………森哲郎
ヘクサプラ断片の残存率について……………伊藤利行

第五号 目次

解釈学的教義学の構成について……………森田雄三郎
 内村鑑三と「身体の救い」……………原 島 正
 言語芸術作品としての旧約聖書物語テキスト…勝村弘也
 エルンスト・トレルチにおける「歴史
 の神学」の構想……………安 酸 敏 真
 教義学的思考における解釈学的循環の問題…掛川富康
 第六号（武藤一雄名誉教授古稀記念特別号）目次
 神学的宗教哲学について……………武藤一雄
 アレクサンドリアのフィロンにおける
 能動と受動の問題……………水 垣 渉
 奇蹟物語へのマージナリア……………大島征二
 アルバート・シュヴァイツァーの聖餐論への
 新約聖書学的批判……………田 辺 明 子

ヨセフスのモーセ物語について……………秦 剛 平
 エイレナイオスの人間理解……………菊地栄三
 キプリアヌスの『棄教者論』考察……………佐藤吉昭
 アウグスティヌスの時間論……………片柳栄一
 ルターにおける「アフェクトゥス」の問題…今 井 晋
 ルターとアウグスティヌス……………金子晴勇
 神学的構造主義の問題……………森田雄三郎
 M・ウェーバー「古代ユダヤ教」と
 パーリア民族の概念……………高野晃兆
 浄土系仏教とキリスト教の救済論の
 一異に関する考察……………原 田 博 充
 日本の伝統的宗教的心情とキリスト教
 との関連について……………名木田 薫
 ウィリアム・ケアリの伝道に対する貢献…塩 谷 悟
 神概念の転換—E・ユンゲルのバルト
 解釈を手がかりとして—……………小川圭治

第七号編集実務委員会

伊藤 邦幸
小池 三郎
高野 晃兆
林野 忠良
片柳 栄一
宮庄 哲夫

執筆 者

岡山大学教授

金子 晴勇

関西学院大学助教授

片柳 栄一

京都大学名誉教授
龍谷大学教授

武藤 一雄

大阪府立工業高等専門学校教授

高野 晃兆

京都大学大学院修士課程在学中

芦名 定道

一九八四年二月二十五日印刷
一九八四年二月二十八日発行

定価 一〇〇〇円

発行者 京都大学左京区吉田本町
京都大学文学部
基督教教学教室内
京都大学基督教教学会
伊藤 邦幸
印刷所 河北印刷株式会社

本誌の御注文は、右記、京都大学基督教教学会(振替京都三二七二〇七)、送料とも一、二〇〇円(定価一、〇〇〇円、送料二〇〇円)を添えてお申込み下さい。

JOURNAL
OF
CHRISTIAN STUDIES

KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

Vol. 7

December, 1984

Contents

Luther and the theological determinismHaruo Kaneko

*Die dreieinige Struktur des menschlichen Geistes als
imago Dei*Eiich Katayanagi

Gewahre den Ort unter deinen FüßenKazuo Muto

*M. Webers "Das Judentum" und die Kritik von
Wilhelm Caspari (1922)*Teruyoshi Takano

Paul Tillich and the Problem of Symbolism.....Sadamichi Ashina

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan